

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年社会環境浄化事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実に向う）	主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり	主管課長	戸部 孝彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住・在学20歳未満の青少年及び保護者、地域住民	意図	青少年を取り巻く有害な社会環境の浄化を行い、青少年の健全育成を図る。
事業内容	青少年の健全育成に関する啓発講演、青少年の市内店舗利用状況を把握するための聞き取り調査、納涼祭等における見守りパトロールなど。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和55年度から流山市青少年社会環境浄化推進委員会及び同実行委員会を設置。昭和58年度に流山市青少年社会環境浄化推進月間（2月）を定め（平成24年度から12月に変更）、「つどい」を実施している。平成2年度から「つどい」に向けて、各機関・団体の代表者で組織される地区会議を開催。平成19年度に「全体のつどい」を実施後、平成25年度から市内7会場で実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	集会活動への参加	722			
②	店舗利用状況調査の要請活動	236	417	417	人	↑↑↑	PTA280、補導員118、保護司会4教職員8、民生児童委員5、青少年相
③	協力店舗	162	157	154	件	↑↑↑	実行活動の協力店舗数
④							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,465,490	6,367,060	6,235,053			
事業費(b)(円)		167,490	221,860	152,040			
うち一般財源		167,490	221,860	152,040			
職員給与費(c)(円)		6,298,000	6,145,200	6,083,013			
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.80			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価		II 継続（事業を現状どおり継続すべき）				

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	社会環境浄化推進委員会の会議のあり方を検討し、実行委員会方式で開催回数を減らす。	③取り組みの課題	青少年を取り巻く社会環境浄化の推進と事業の趣旨の啓発・広報活動の推進。また、会議の合理化と負担感の軽減を図る。
②今年度(H26)に実施した取り組み	各地区の実態に応じた「地区のつどい」を開催するために7会場で実施。実行活動は中学校区の8地区で実施。納涼祭パトロールは48ヶ所で実施。	④今後の改善計画	組織を機能させた主体的な活動を推進し、地区の実態に応じた企画立案ができるよう組織及び活動内容の改善を図る。